

第26回 身心統合科学 (BAMIS) セミナー

発育期の環境ストレスで形成される 行動障害

最先端の神経精神薬理学に学ぶ次世代スポーツ科学の課題

4月11日 **木** 16:30 ~ 18:00 ※15:00より関連研究発表

会場：筑波大学体芸棟 5C606

世話人：征矢 英昭 (2620) 参加費無料、参加申込不要



第27回 身心統合科学 (BAMIS) セミナー

研究方法論 研究を どう進めるか?

4月12日 **金** 9:00 ~

会場：筑波大学体芸棟 5C606

世話人：征矢 英昭 (2620) 参加費無料、参加申込不要



鍋島俊隆 博士

名城大学薬学部 地域医療薬学講座 特任教授
NPO J-DO 医薬品適正使用推進機構 理事長
名古屋大学・ルーマニア/アレキサンドルイワン・クザ大学名誉教授

人の心や行動は親から受け継いだ遺伝的な要因はもとより、育った環境に大きな影響を受けています。種々の疾患の発症にも遺伝的要因と環境的要因が複雑に関わっています。遺伝的要因と環境的要因がどのように関わると精神疾患が発症するのか？どのような環境で育てると精神疾患の発症を予防できるのか？動物実験の結果をもとに考えたいと思います。

【関連研究発表】

1. 低強度運動により海馬で誘導されるアンドロゲンと神経新生促進作用
岡本正洋 (特別研究員)
2. 発育期における低強度走トレーニングがもたらす抗ストレス効果
稲垣和希 (征矢研 M1)
3. 認知機能を高める負荷付き自発運動とその分子機構
—脳由来神経栄養因子 (BDNF) の関与—
Lee Min Chul (特別研究員)

主催 | 文科省特別経費プロジェクト「たくましい心を育むスポーツ科学イノベーション」
筑波大学大学院人間総合科学研究科 体育系
拠点代表 | 征矢英昭 (体育系)
連絡先 | 松田佐保 (BAMIS 推進室 体育科学系 A307) Tel: 029-853-6325
E-mail | matsuda.saho.ga@un.tsukuba.ac.jp
URL | <http://bamis.taiiku.tsukuba.ac.jp/>